

第19回全国高等学校文化連盟将棋新人大会石川県大会

本校2年生中村祐子さん、中本沙良さん全国大会へ

中村さん準優勝、中本さん第3位入賞

平成22年11月7日（日）、星稜高等学校大会議室で「第19回全国高等学校文化連盟将棋新人大会石川県大会」が開催されました。

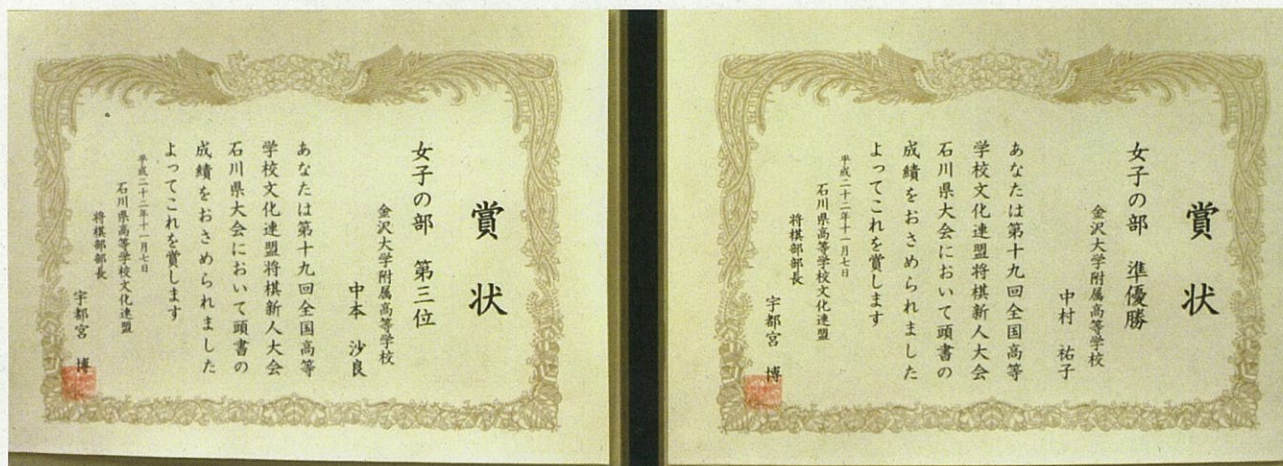
女子個人戦の部で本校2年生の中村祐子さんと中本沙良さんが、それぞれ準優勝、第3位の成績を収めました。以下に中村さん、中本さんのコメントを紹介します。

中村さんの話：

今回の大会で上位に入賞することができ、また全国大会の女子のメンバーに選ばれて、とても嬉しく思う。私は将棋を始めるのが他の部員よりも遅く、棋手としてそれほど力が有るわけでもないが、全国大会では持っている力を全て出し切り、全力で戦いたいと思っている。そのためには日々の積み重ねが大切なので、部活の一回一回を大切に力をつけて行きたいと思う。

中本さんの話：

将棋を始めたきっかけは、小学校の時に将棋クラブに入ったことでした。当時の練習相手は男の子ばかりでした。中学校ではスポーツクラブに属し、暫く将棋から離れました。高校に入学して、急に将棋がしたくなってクラブに再び入部しました。週1回の部活では、顧問の先生や女子部員と毎回3局ぐらい将棋を指して腕を磨いています。徐々に上位の人との実力差も縮まってきたように思います。これからも腕を磨いて全国大会に備える予定です。（下写真は中村さん、中本さんの賞状）



中村さん、中本さんの二人は、来春1月27日（木）から29日（土）まで栃木県日光市で開催される「第19回全国高文連将棋新人大会」に石川県代表として派遣されることになっています。二人が全国大会で活躍することを祈ります。